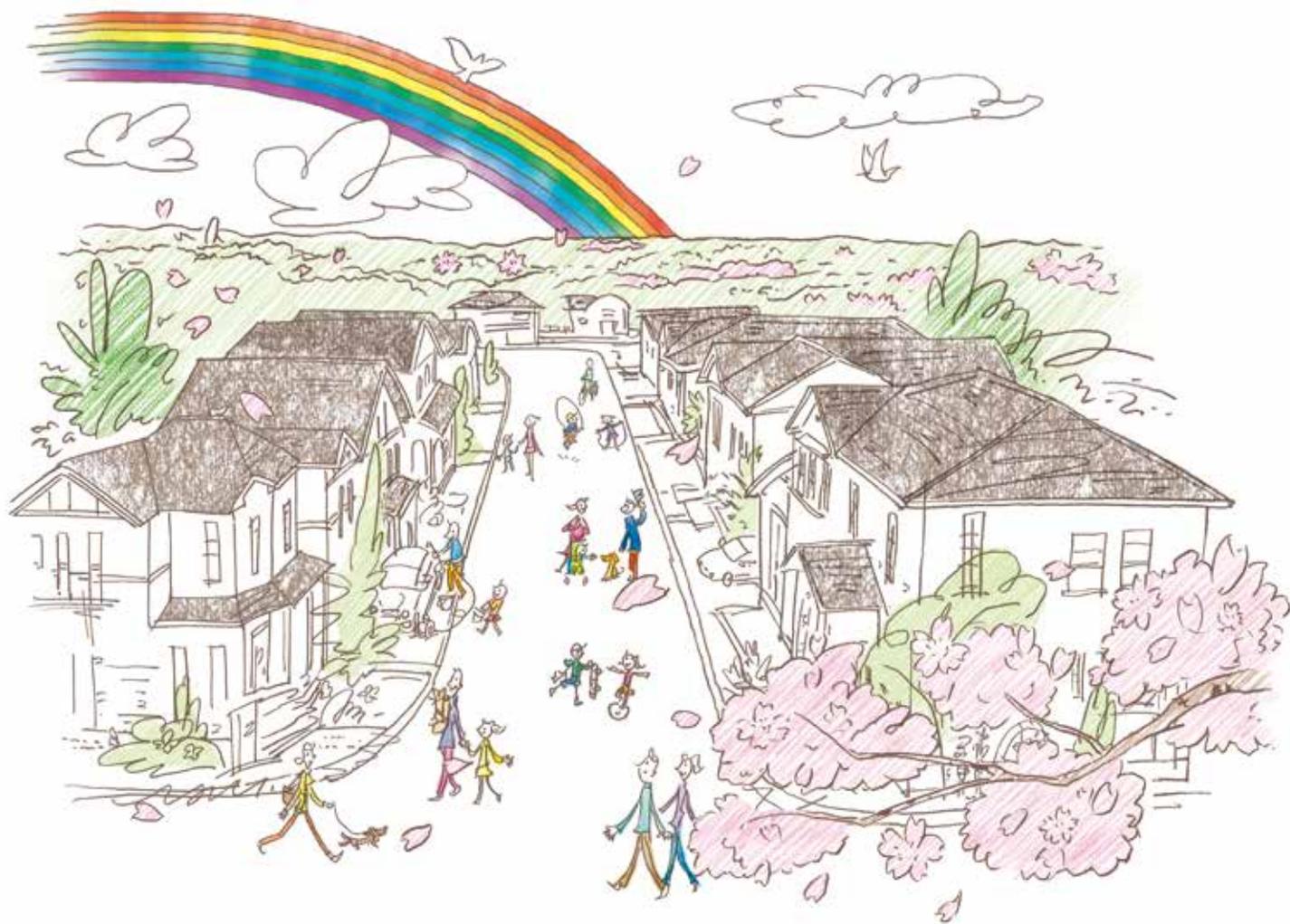


幸せはこぼ
住まいづくり



4th

おかげさまで40周年
フジ住宅株式会社

第40期

株主通信

平成24年4月1日～平成25年3月31日

フジ住宅株式会社

証券コード：8860

FUJI

株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

「フジ住宅」は、おかげさまで本年の1月22日に創業40周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

「フジ住宅」は不動産会社の一営業マンであった創業者で現会長の今井光郎が、当時の住宅業界における品質責任の意識の低さから昭和48年1月22日に個人創業したことが始まりです。「フジ住宅」という社名は“富士山のように、日本一愛される会社”になりたいという想いに由来しています。“売りっぱなし・建てっぱなし”

で業容・業績を拡張するのではなく、お客様一人ひとりの顔が見える範囲で密度の高い事業を行うことが質の高いアフターサービスに繋がり、ひいては顧客満足度の向上に繋がるものと考えています。

以来「フジ住宅」は40年間、“お客様に幸せになっていただくこと”を第一の目的に、地域に根付いたあらゆる居住用不動産に関するワンストップサービス企業として、新築戸建住宅、新築分譲マンション、注文住宅、改装付中古住宅、土地有効活用によるアパート建設提案、個人投資家向け一棟賃貸マンション販売、分譲マンション管理、賃貸管理などの事業を着実に成長させてまいりました。

今後とも、長期的な安定経営の方針に基づき、役職員共々お客様に顔を向けた責任ある住まいづくりの実践に励んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

代表取締役会長

今井 光郎

代表取締役社長

宮脇 宣綱

平成25年6月

Q1 平成25年3月期の業績の概要と、平成26年3月期の展望を教えてください。

平成25年3月期の業績は、売上高66,047百万円（前期比7.7%減）、営業利益3,809百万円（同22.7%減）、経常利益3,761百万円（同23.3%減）、当期純利益2,268百万円（同18.0%減）となりました。

主として住宅流通事業における中古住宅の仕入競争激化により、改装付中古住宅『快造くん』の売上高が大きく減少しました。また、分譲住宅事業におけるリーマン・ショック後に仕入れた利益率の高い物件の引渡しが平成24年3月期までに一巡し、当期引渡し物件の利益率が低下したことから前期比で減収・減益となりました。

平成26年3月期は、売上高80,000百万円（平成25年3月期比21.1%増）、営業利益5,400百万円（同41.8%増）、経常利益5,300百万円（同40.9%増）、当期純利益3,240百万円（同42.8%増）と売上・利益ともに過去最高になることを見込んでいます。

平成25年3月期中に販売した新築戸建住宅（自由設計）の受注契約が阪神間・堺市の大型現場を中心に好調に推移し、期末の受注契約残高が高い水準となったため引渡し（売上）の増加が見込まれます。同様に分譲マンションも平成25年3月期の引渡し戸数24戸から大幅増の470戸の引渡しを予定していることから、大幅な増収・増益になる見込みです。

Q2 創業40周年おめでとうございます。今後10年、20年とさらに長くフジ住宅が潰れない会社であり続けるために、1番重要なポイントと考えられる点を教えてください。

フジ住宅は、おかげさまで本年の1月22日に創業40周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当社創業者であり現会長の今井は『企業は人なり』と申しております。人の成長なくして企業の発展はありえないからです。当社が繁栄・発展し続けるためには、一にも二にも『人財育成』が大事であると考えています。

当社にとっての「人財」とは「能力」「熱意」「考え方」という3つのファクターを兼ね備える人材のことを指しています。『人財育成』の最終的な目的は社員が成長した結果、当社が社会の中でなくてはならない存在になること、つまりお客様や社会から尊敬される存在になることです。

変化する社会の中では常に新たな価値が求められます。ただ同じことを繰り返しているだけでは時間とともに企業の存在価値が低下してしまいます。そのような状況の中で

企業の存在価値を唯一創造できるのが「人財」であると考えています。また、『人財育成』とは、その時々企業の都合によって行われるものではないけません。永続的に成長していく企業として社会の中でどのような存在価値を担うかという視点から考え行っていくことが重要です。それは、人が成長するということは企業の成長枠を越え、円満な家庭や社会の発展にも大きな影響を与えることになるからです。

当社も経営理念にあります「社員のため、社員の家族のため、顧客・取引先のため、株主のため、地域社会のため、ひいては国家のために当社を運営する」を実践できる社員の割合を今まで以上に増やし、世のため人のために社会の問題まで解決することができるよう自立型人財を育成することが最も重要なことであると考えています。

Q3 平成24年5月に発表された連結中期事業計画（平成25年3月期～平成27年3月期）の進捗状況を教えてください。

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中期計画	実績	中期計画	業績予想	中期計画
売上高	75,000	66,047	85,000	80,000	87,000
経常利益	4,000	3,761	5,200	5,300	5,500
当期純利益	2,420	2,268	3,150	3,240	3,300

平成25年3月期の業績については、中古住宅の仕入競争激化による販売物件の不足が影響して、住宅流通事業の売上高が計画を7,587百万円下回りました。一方で、利益面については土地有効活用事業の主力商品である『フジパレスシニア』（低賃料タイプサービス付き高齢者向け住宅）が計画を上回る業績となり、中古住宅の利益減少を補うことで当初計画を若干下回るにとどまりました。

平成26年3月期については、平成24年9月に大阪府堺市に開店しました中古住宅仕入の新拠点開設による効果から仕入増加が期待されるものの、本格的な中古住宅の業績回復には時間を要する見込みであるため、売上高は前期よりは大幅に増加する見込みですが、中期計画は下回る予想としています。一方、分譲住宅事業では平成25年3月期に利益率の高い阪神間及び堺市にある大型の新築戸建住宅（自由設計）の受注が好調で、平成26年3月期に本格的な引渡しが始まる分譲マンションと相まって、利益面は中期計画を上回る予想としています。

計画の最終年度となる平成27年3月期については、中古住宅の業績回復や各事業の深耕により中期計画を達成できる見込みです。

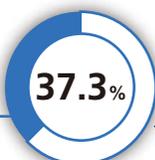
（※詳細につきましては、P11の連結中期事業計画の検証をご参照ください。）

事業セグメント別売上高構成比



分譲住宅セグメント 24,626百万円

(前期比3,563百万円減)



内訳…自由設計住宅 24,026百万円
分譲マンション 599百万円

(売上高構成比)

特長は50~150戸規模の新築戸建住宅の「街づくり」と、お客様ご自身が住まいづくりにご参加いただく「自由設計」です。「自由設計」では間取りや設備仕様に対する様々なニーズに対応しています。
また、新築分譲マンション販売事業も分譲住宅セグメントに含まれます。



『ビッグハーベストランド武庫之荘』
(兵庫県尼崎市)の街並みイメージ

『シャルマンフジスマート
松原松ヶ丘コンフォルトクラス』
(大阪府松原市)

分譲住宅



土地有効活用セグメント 10,744百万円

(前期比3,428百万円増)



内訳…賃貸住宅等建築請負 6,668百万円
個人投資家向け一棟売
賃貸マンション 4,076百万円

(売上高構成比)

賃貸管理のノウハウを生かした提案型の賃貸住宅の建築請負を展開しています。また、当社で土地を仕入れ、賃貸アパート等を建築し販売する、個人投資家向けの一棟売賃貸マンション販売も主力事業となっています。



個人投資家向け
一棟売賃貸マンション
『フジバレス』(大阪府堺市)

土地有効活用 FUJI



賃貸及び管理セグメント 8,564百万円

(前期比704百万円増)



賃貸マンションの建物管理や入居者募集、賃料回収等の管理業務及び分譲マンションの管理組合からの運営受託を行っています。
良質の賃貸・管理サービスは提案型の建築請負の営業支援となり、引渡し後の賃貸管理の引き受けとあわせて、土地有効活用セグメントとの相乗効果も高い事業です。



低賃料タイプ
サービス付き高齢者向け住宅
『フジバレスシニア』
(大阪府守口市)

暮らしを見守る確かな隣
FUJI AMENITY SERVICE SYSTEM
賃貸及び管理 FASS



自由に見て、自由を選べる
住宅情報展示場
『おうち館 泉佐野店』
(大阪府泉佐野市)



お家の買取専門店『フジホームバンク堺店』
(大阪府堺市)



(売上高構成比)

住宅流通セグメント 21,737百万円



(前期比6,114百万円減)

内訳…中古住宅	16,813百万円
建売住宅	4,839百万円
土地販売等	84百万円

中古住宅の「仕入」⇒「リフォーム」⇒「販売」の三つの要素から成り立つ改装付中古住宅『快造くん』。地域密着型経営やリフォームのマニュアル化による独自のノウハウが強みです。

また、小規模の新築戸建住宅（建売）の販売により、自由設計住宅や大規模プロジェクトではカバーできない顧客ニーズにも対応しています。



(売上高構成比)

注文住宅セグメント 373百万円



(前期比1百万円減)

内訳…注文住宅建築請負	357百万円
リフォーム工事請負	15百万円

戸建住宅の実績で培ったノウハウを生かし、土地を保有するお客様に対して戸建住宅の新築や、建替え・リフォームを請負うといった事業を行っています。

平成25年1月に『泉北展示場』（大阪府堺市）をオープンしました。



注文住宅 最新モデルハウス 『泉北展示場』(大阪府堺市)



『注文住宅展示場』
(大阪府岸和田市)

フジの家
あなたの住みたい家が見つかる
www.fuji-ie.com

住宅流通 ほ・ら・う・館

注文住宅 炭の家
おうちの空気を洗う

連結財務諸表の要旨

Point 1

たな卸不動産（販売用不動産、仕掛販売用不動産、開発用不動産、未成工事支出金）

良質な分譲住宅用地を積極的に取得したこと等により、たな卸不動産の合計は前連結会計年度末の46,461百万円から57,552百万円へと11,091百万円増加しました。

Point 2

短期借入金、長期借入金

短期借入金は前連結会計年度末に比べ9,035百万円増加しています。これは、平成26年3月期に顧客への引渡しが本格化する分譲マンションや大型の新築戸建住宅（自由設計）プロジェクトに対応した借入金（長期借入金から短期借入金（1年内返済予定の長期借入金）に振り替えられたことが主な理由となります。

一方、良質な分譲住宅用地を積極的に取得したことに伴い、短期借入金への振り替え額を上回る長期借入金の増加があったことから、長期借入金は前連結会計年度末に比べ1,248百万円増加しています。

連結貸借対照表

（単位：百万円 百万円未満切捨）

資産の部

	前連結会計年度 平成24年3月31日	当連結会計年度 平成25年3月31日
流動資産	57,873	69,519
現金及び預金	9,749	10,532
完成工事未収入金	77	97
販売用不動産	10,913	12,877
仕掛販売用不動産	9,651	15,577
開発用不動産	25,756	29,001
未成工事支出金	139	96
貯蔵品	25	30
繰延税金資産	617	385
その他	999	982
貸倒引当金	△ 57	△ 62
固定資産	7,335	7,407
有形固定資産	6,335	6,255
建物及び構築物	2,630	2,655
機械装置及び運搬具	0	0
工具、器具及び備品	121	124
土地	3,558	3,458
リース資産	21	16
建設仮勘定	3	—
無形固定資産	15	33
投資その他の資産	985	1,118
投資有価証券	445	556
長期貸付金	110	100
繰延税金資産	5	31
その他	424	430
貸倒引当金	△ 1	△ 1
資産合計	65,209	76,926

負債の部

	前連結会計年度 平成24年3月31日	当連結会計年度 平成25年3月31日
流動負債	19,054	28,618
支払手形・工事未払金	2,266	2,746
② 短期借入金	8,867	17,903
1年内償還予定の社債	720	720
リース債務	8	8
未払法人税等	1,167	263
前受金	3,742	4,410
賞与引当金	156	158
その他	2,124	2,408
固定負債	26,031	26,545
社債	1,500	780
② 長期借入金	24,275	25,524
リース債務	14	8
再評価に係る繰延税金負債	70	61
その他	170	170
負債合計	45,085	55,164

純資産の部

	前連結会計年度 平成24年3月31日	当連結会計年度 平成25年3月31日
株主資本	20,141	21,746
資本金	4,872	4,872
資本剰余金	5,455	5,475
利益剰余金	10,254	11,795
自己株式	△ 440	△ 396
その他の包括利益累計額	△ 58	△ 18
その他有価証券評価差額金	△ 141	△ 85
土地再評価差額金	82	67
新株予約権	41	33
純資産合計	20,123	21,761
負債純資産合計	65,209	76,926

Point 3

売上高

中古住宅の仕入における厳しい競合状況等を反映し、過去最高を計上した前連結会計年度から5,547百万円の減収となりました。

平成26年3月期については分譲マンションの顧客への引渡し本格化すること等から前連結会計年度を上回る売上高を見込んでいます。

Financial Statements

連結損益計算書

(単位:百万円 百万円未満切捨)

	前連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	当連結会計年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
③ 売上高	71,594	66,047
売上原価	58,740	53,850
販売費及び一般管理費	7,926	8,387
④ 営業利益	4,928	3,809
営業外収益	311	269
営業外費用	336	317
④ 経常利益	4,903	3,761
特別損失	67	101
税金等調整前当期純利益	4,835	3,660
法人税、住民税及び事業税	1,943	1,199
法人税等調整額	124	192
④ 当期純利益	2,767	2,268

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円 百万円未満切捨)

	前連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	当連結会計年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,292	△ 7,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 471	△ 386
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,242	8,867
現金及び現金同等物の増減額	1,579	782
現金及び現金同等物の期首残高	8,170	9,749
現金及び現金同等物の期末残高	9,749	10,532

セグメント情報

(単位:百万円 百万円未満切捨)

前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

	報告セグメント					合 計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	28,189	27,852	7,316	7,860	375	71,594
セグメント利益又は損失 (△)	3,226	1,235	862	428	△31	5,721

当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

	報告セグメント					合 計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	24,626	21,737	10,744	8,564	373	66,047
セグメント利益又は損失 (△)	2,131	561	1,575	453	△77	4,644

Point 4

営業利益、経常利益、当期純利益

営業利益、経常利益、当期純利益の各段階損益については前連結会計年度末の豊富な受注契約残高を背景にした収益性の高い土地有効活用事業の

引渡しの増加が下支えになったものの、分譲マンション販売に係る広告宣伝費の増加や、リーマン・ショック後に仕入れた利益率の高い物件の引渡しが一段落したことから減益となりました。

Point 5

営業活動によるキャッシュ・フロー

Point①及び④と関係しますが、良質な分譲住宅用地を積極的に取得したことによるたな卸不動産の増加、過去最高益を反映した前連結会計年度に係る法人税等の納付などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは7,698百万円のマイナスとなりました。

Point 6

財務活動によるキャッシュ・フロー

Point①及び②と関係しますが、主としてたな卸不動産の増加に伴い短期・長期の借入金が増加したことから、財務活動によるキャッシュ・フローは8,867百万円のプラスとなりました。

経営理念の本気度

あすなる法律事務所 経営弁護士
関西学院大学司法研究科教授

池田 直樹

この度は、フジ住宅株式会社様の創業40周年を心からお祝い申し上げます。

住宅産業はクレーム産業と言われるように、会社として最善を尽くしたつもりであっても、一生に一度の大きな買い物をされるお客様から、思いがけないクレームが出されることがあります。

こういったトラブルのときにこそ、経営理念の真価が問われます。その点、今井会長をトップとするフジ住宅の本気度について、弁護士として新鮮な驚きを何度も感じてきました。

以前、工場が立ち退いた跡地に建てられた住宅を購入されたお客様から、隣接する工場の振動で眠れないという苦情が寄せられました。購入を決め、実際に住んでみて振動を感じるようになるとは思ってもみなかったとおっしゃるのです。私は担当者とともに、販売前の住宅に寝転がって振動を体感してみたところ、確かに振動はしましたが、計測結果は基準値以下で違法性はありません。しかし、念願のマイホームで「振動が気になって眠れない、何とかならないものか。」と涙するお客様。私も悩みました。

この件は、会社には法的に対応する義務はありませんでしたが、民事調停も活用しつつ、いろいろな対策を検討しました。結局フジ住宅が高額な対策費用の一部を負担し（お客様負担なし）、工場に振動対策装置を導入してもらい、振動を元から絶つ解決ができました。新居に落ち着かれ、「夜眠れるようになりました。」と言われたお客様の笑顔を私は忘れることができません。また、裁判所の調停委員からも素晴らしい解決ですと、コメントをいただきました。

フジ住宅が従業員に励行している「聞けばいいだけ、言えばいいだけ」。困ったことがあれば悩まずに上司にまずは報告し相談してみようということです。以前、法務部からの紹介で子供さんのことで悩んでおられた派遣社員の方のご相談に急きょ応じたことがあります。相談ののち、ほっと安心した顔で帰られました。後日、その方は、最初職場の上司に相談したところ、社長に相談するように勧められ、おそろおそろ社長に電話した結果、私を紹介されたことを知りました。宮脇社長も今井会長と同じ考え方、価値観を持たれて、従業員の相談を親身になって受けておられることを知りました。

人々が夢見る住宅を売る会社である以上、従業員やその家族を大切に、お客様の信頼を何よりも重視する。フジ住宅の文化と個性がその成長の原動力になっていることを弁護士として日々体験させていただいております。



『親孝行月間』のご紹介

当社は“企業は人なり”の言葉通り、人財育成に力を入れています。創業者で現会長の今井光郎自身も人育てを天命とし、社員の成長を心から願っています。当社が望む成長は、単に業務のスキルという点だけではありません。何事にも感謝の気持ちを持つ、思いやりの心を持つなど、人としての成長を強く社員に望んでいます。

そんな当社の想いが実践されている社内制度の一つ『親孝行月間』をご紹介します。

『親孝行月間』とは

毎年4月1日に全役職員約1,000名（パート社員・派遣社員を含みます）に、一人1万円を封筒に入れて支給します。平成16年から導入しているこの制度の決まりは、必ず親のために使う（親孝行のためならどのように使おうと自由です）ことと、どのように使ったかを感想文として提出することです。

当社の経営理念の一番初めに書かれているのは「社員のため」「社員の家族のため」。「一番身近な両親を大切にできない人は、お客様を大切にすることができない。」という考えのもと、親に感謝し、親孝行をすることで、お客様に対しても感謝の気持ち、思いやりの心を持つなど、人としての成長に繋がっている制度です。



社員が提出した感想文には、

「今まで親孝行をした気になっていたが、本当に両親が喜ぶことは何かを考えたことはなかったと感じた」

「普段はどうしても照れが出てしまい、両親に感謝していることが伝えられていませんが、親孝行月間を機会に、素直に両親に日頃の感謝を伝えることができました」

「母が少し前から行きたいと言っていた焼肉を食べに行った。母が喜んでくれたことがとてもうれしかった」

「鹿児島島の母の墓前に花を手向けた。母も喜んでくれていたと思う」

など、親への“感謝”の気持ちが感じられる感想が多数あがっています。



地域・社会との関わり

◆泉州国際市民マラソンの協賛

泉州国際市民マラソンは、泉州9市4町（堺、高石、和泉、泉大津、岸和田、貝塚、泉佐野、泉南、阪南の各市、忠岡、熊取、田尻、岬の各町）が一つになって広域行政の推進や泉州地域の活性化、国際化を目的として開催されています。そこで、当社も今後の泉州地域が国際都市へ発展するとともに、泉州はもとより大阪、関西を活性化するため、意義深いものと考え、関西国際空港が開港した平成6年の第一回大会より協賛しております。



◆岸和田市バレーボール連盟 (ママさん交流バレーボール大会) への協賛

岸和田市のバレーボール愛好のママさんたちの和やかな交流・親睦や生涯スポーツ普及・振興を目的として開催されている岸和田市バレーボール連盟（ママさん交流バレーボール大会）へ協賛しています。これからも地域に密着した企業として、地域の皆様と心の通うお付き合いをさせていただき、愛され続ける企業を目指してまいります。



◆環境美化の取り組み

地域活動の一環として、本社ビル及びおうち館各店舗の前面道路を含む周辺道路一帯を当社スタッフが道路清掃しております。その結果、おうち館岸和田店の前面歩道が「アドプト・ロード・土生町二丁目」と大阪府から認定された他、当社の道路美化に対する取り組みや地域の清掃活動への貢献が認められ、平成20年8月に大阪府道路協会より「道路功労賞」、平成21年10月に泉佐野市の「環境美化善行者表彰」、平成23年8月に国土交通省より『平成23年度「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰』を受賞いたしました。今後も、地域に愛される環境美化に取り組んでまいります。

◆障がい者アスリートの雇用と活動支援

当社は、障がい者雇用に積極的に取り組んでおり、平成20年北京パラリンピック出場のウィルチェアラグビー（車椅子ラグビー）の永易 雄（ながやす ゆう）選手を雇用しております。

次回リオデジャネイロパラリンピック出場を目指して競技生活を優先してもらいながら、社会貢献の一環としてパラリンピックキャラバンに参加し、大阪府内の小・中・高等学校などで講演活動や障がい者スポーツのデモンストレーションを行うことで、障がい者への理解を深めていただく活動を行っております。



大阪府内の高校での講演風景



連結中期事業計画の検証

(平成24年5月1日(火)公表)



売上高

- 平成25年3月期の売上高は中古住宅の仕入競争激化により販売物件が不足したことによる住宅流通事業の販売減が業績に大きく影響し、中期事業計画を8,952百万円下回りました。
- 平成26年3月期においては中古住宅の業績回復にやや時間を要するとの見通しから、中期事業計画を若干下回る保守的な予想としています。

利益

- 平成25年3月期の経常利益、当期純利益においては収益性の高い土地有効活用事業の売上増加が他の事業の利益減少を補うこととなり、中期事業計画を若干下回るにとどまりました。
- 平成26年3月期は収益性の高い阪神間及び堺市の新築戸建住宅(自由設計)並びに分譲マンションの引渡し当初予定を上回る見込みであることから、中期事業計画で策定した利益を達成できる見通しです。

最終年度の見通し

計画の最終年度となる平成27年3月期連結会計年度には売上高87,000百万円、経常利益5,500百万円、当期純利益3,300百万円を目標としております。目標達成に向けて全社一丸となって努力してまいります。

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 105,000,000株
- 発行済株式の総数 36,849,912株
(内、自己株式1,320,868株)
- 株主数 8,627名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
今井光郎	3,752千株	10.18%
株式会社フレックス	3,422千株	9.29%
株式会社フジ住宅従業員共済会	2,561千株	6.95%
フジ住宅取引先持株会	1,799千株	4.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,178千株	3.20%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託紀陽銀行口)	1,012千株	2.75%
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	924千株	2.51%
株式会社池田泉州銀行	681千株	1.85%
フジ住宅従業員持株会	651千株	1.77%
株式会社紀陽銀行	585千株	1.59%
合計	16,569千株	44.96%

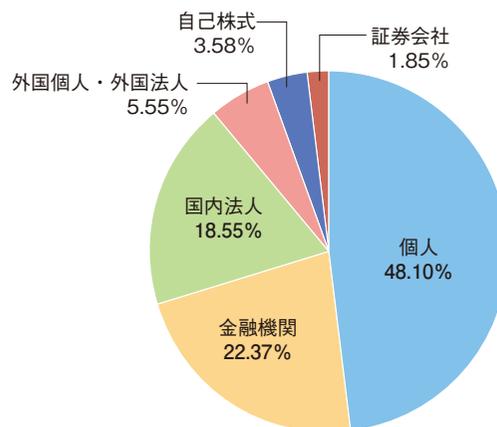
(注) 上記のほか、自己株式1,320千株があります。

● 株価チャート (平成24年4月～平成25年5月)

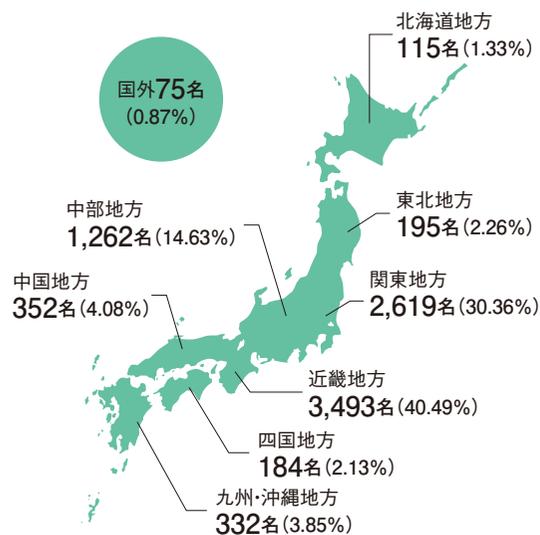


※株価は大阪市場を採用しております。

● 所有者別株式分布状況



● 地域別株主分布状況



会社概要 (平成25年3月31日現在)

社名 フジ住宅株式会社
 英文商号 FUJI CORPORATION LIMITED
 設立 昭和49年4月19日
 代表者 宮脇宣綱
 資本金 48億7,206万円
 従業員数 1,054名 (パート社員を含む) (連結)
 事業内容 分譲住宅事業
 住宅流通事業
 土地有効活用事業
 賃貸及び管理事業
 注文住宅事業

関連会社 フジ・アメニティサービス株式会社
 主要取引銀行 三井住友銀行、池田泉州銀行、紀陽銀行
 りそな銀行、近畿大阪銀行、関西アーバン銀行
 みずほ銀行

役員 (平成25年6月19日現在)

代表取締役会長	今井光郎
人財開発室担当	
代表取締役社長	宮脇宣綱
常務取締役	山田光次郎
大阪支社社長・用地部門担当	
取締役	松山陽一
土地有効活用事業部長	
取締役	石本賢一
経理部長・財務部長・IR室長	
常勤監査役	冠野雅之
監査役	岩井伸太郎
監査役	高谷晋介

※監査役岩井伸太郎氏及び監査役高谷晋介氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、東京証券取引所及び大阪証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

アンケートのお願い

前期の第39期株主通信に同封いたしましたアンケートでは、平成24年3月31日現在の単元株主様7,486名のうち76.0%にのぼる5,693名の株主様よりご回答をいただきました。本年も株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきます。

お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにお答えいただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。平成25年7月31日までにご返送いただいた方にはアンケートにご回答いただいたお礼として、下記①～③の中からご希望の品を1点、9月上旬より順次お送りさせていただきます。

(アンケートにていずれか一つをご選択いただきますようお願いいたします。なお、①②につきましては今年の作柄次第で、発送時期が遅くなる場合がございますので、ご了承くださいませよう願いたします。)

①徳島産「すだち」 1kg



②黒糖旨味仕上 淡路島完熟「玉ねぎ」 2kg



③佐藤芳直氏著 「わが子へ伝えたい11の歴史 日本はこうして世界から信頼される国となった」

先祖が築き上げてくれた歴史から私たちは何を学び、どのようなかたちで次の世代へ語り継いでいけばいいのか。教科書では詳しく教えられない11の歴史を通して、私たちが誇るべき先祖の生き方を教示してくれる一冊です。私たちの先祖が、どれだけの思いと苦勞の果てに、世界から信頼され、憧れられる「今」の日本をつくって手渡してくれたのかを知ること、「日本人としての自信と誇り」と「感謝の気持ち」がわいてきます。



今年は、創業40周年記念として、当社創業者 今井光郎（現会長）が薦める一冊の書籍「わが子へ伝えたい11の歴史 日本はこうして世界から信頼される国となった」を“今回限定”で選択肢に加えさせていただきました。

～創業40周年について～

当社は今年（平成25年）1月22日に創業40周年を迎えました。創業者で現会長の今井光郎が“お客様に幸せになっていただくこと”を事業の目的に当社を創業するにあたり掲げた経営理念には、「社員のため、社員の家族のため、顧客・取引先のため、株主のため、地域社会のため、ひいては国家のために当社を経営する」とあります。

第一に「社員のため」「社員の家族のため」としているのは、お客様に幸せになっていただくためには、まず、社員が悩みやストレスなく、明るく・元気に・イキイキと働けること、家族を大切にすることが何より重要であると考えているからです。働く社員が幸せでなかったら、どうしてお客様に心から喜んでいただける仕事ができるでしょうか。一番身近な家族を大切にできない人が、どうしてお客様を大切にすることができるでしょうか。社員、社員の家族をスタートラインとして幸せの波紋が、お客様をはじめ、取引先、株主の皆様、地域社会ひいては国家へと広がっていくこと、それが経営理念に込めた今井の想いです。そのような想い・考えのもと、「企業は人なり」をスローガンに、当社では特に人財育成に力を入れており、様々な社内制度、社員教育を実施しています。その中の一例をご紹介しますと、新入社員（パート社員含む）の入社時教育の一環として、ビジネスマナー・自己啓発に繋がる書籍を数冊配付しています。その後も、会長の今井、社長の宮脇が読んだ書籍の中で、是非社員に読んで欲しいと感じた書籍を厳選し、役職・職種に応じて、あるいは全役職員約1,000名（パート社員、派遣社員を含みます）に配付しています。

これらは、お客様に幸せになっていただくため、役職員一同が感謝の心をはぐくみ、自らが誇りを持って明るく・元気に・イキイキと仕事に取り組んでいけるよう、「仕事を通じて人としても成長して欲しい」という強い思いから取り組んでいることです。

そこで今回、「フジ住宅が大切にしたい価値観・考え方」をより皆様に知っていただきたいという思いから、今年、全役職員へ配付された書籍の中から佐藤芳直氏著 書籍「わが子へ伝えたい11の歴史 日本はこうして世界から信頼される国となった」を創業40周年記念として、“今回限定”でアンケートにご回答いただいた方へのお礼の選択肢に追加させていただきました。



代表取締役社長 宮脇 宣綱

代表取締役会長 今井 光郎

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告による < http://www.fuji-jutaku.co.jp/koukoku/top.html >
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 [平日 9:00~17:00]
(インターネット) ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社に口座をお持ちの株主様 ⇒ 株主様の口座のある証券会社

証券会社に口座をお持ちでない株主様
(特別口座の株主様*) ⇒ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(上記電話照会先)

※株券電子化(平成21年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

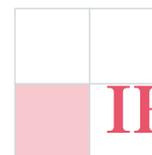
FUJI

FUJI CORPORATION LIMITED



フジ住宅株式会社

〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
Tel.072-437-9010 Fax.072-437-9828



IRメール配信 サービスのお知らせ (登録無料)

当社では、株主、投資家の皆様を対象にしたIR情報メール配信サービスを行っています。最新の開示情報やホームページの更新などのIR情報を、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしていますので、是非ともご登録いただきますようお願い申し上げます。

【メール配信サービス 登録方法】

当社ホームページ (<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>)
よりご登録いただけます。



ここで必要事項を入力の上
ご登録ください。当社
から最新情報を配信いた
します。



クリック



※アンケートはがきのE-mail欄にメールアドレスをご記載いただければ、当社にて登録させていただきます。

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています

VEGETABLE
OIL INK